



冬に向けて感染症の対応について

感染症拡大防止にご協力ください



発熱の基準は、お子様より平熱が異なることから一概に基準を設けることは難しいですが、感染症法では37.5度以上と定義しており、乳幼児は高熱に至りやすく体調の変化を起こしやすいことから、新型コロナウイルス感染症が終息していない現時点では、発熱の目安を37.5度といたします。

一方で、発熱を判断する際には平熱に個人差があることについて留意する必要があります。平熱が37.0度を超えるお子様については、保育所等からの発熱の際の連絡について、個別に保育所等と打ち合わせをして頂くようにお願いします。

【本人の感染症の状況】



- ① 登園前の体温測定において、37.5度以上の発熱がある場合は、保育園等の利用を控えてください。
- ② 登園後に37.5度以上の発熱がある場合は、保育園等から保護者にご連絡させていただきますので、お迎えについてご協力をお願いします。
- ③ 発熱した後に解熱した場合、解熱後24時間経過し、呼吸症状等が改善するまでは、保育園等の登園を控えてください。
- ④ 発熱がなく、咳・鼻水等の呼吸症状がある場合は、無理をせず自宅での療養をお勧めします。呼吸症状が喘息等感染症のものではないと医師が判断した場合は登園することができますので、保育所等にお知らせください。



【同居家族の感染症の状況】



- ⑤ 同居家族に発熱等や体調不良の方がいる場合は、お子様の保育園等の利用をお控えください。
- ⑥ 同居家族が濃厚接触者と特定されるなど、PCR検査を受けることになった場合は陰性が確認されるまでは、お子様の登園はお控えください。
- ⑦ 同居家族やお子様PCR検査を受けることになった場合は、登園せずに園へ速やかに連絡し、結果についてもご連絡をお願いします。
※関係機関と情報共有をさせていただくことがあります。



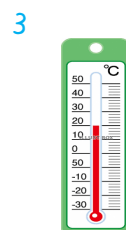
【この冬を乗り切る家庭でのポイント】



1時間に
5分程度、
窓を5cm程度



加湿をしよう
★湿度:40~60%



温度管理をしよう
★適温:冬
18~22度

